chance of lifetime　NO.⑧

全日教連
事務局長
福田 衛人

サッカーのワールドカップのお陰で、眠れない毎日を過ごしている。この稿が読まれる頃には、丁度決勝戦が行われている頃ではないだろうか。日本代表に関しては、あまり期待していなかったのに、カメルーンに勝ったものだから、俄然夢中になって応援をした。我ながら、現金なものだなと思ったが、同時に「やっぱり日本人だな」と改めて感じた。試合会場では、君が代が大合唱されていたり、応援席に大きな日の丸が揺れていたりしていた。「国を思う気持ちが薄い」と言われる日本人だが、こういう時にはやはり自分の国を大切にするのだ。

今回、日本代表がマスコミに讃えられていたことの一つに、「チームワークの良さ」がある。実力はさほどではないが、チームが一丸となって格上のチームと互角以上の戦いをする姿に、勝ち負けを越えた美しさを感じた日本人はたくさんいたのではないだろうか。試合に負けて、ほとんどの選手が目に涙を浮かべるチームなんて、私が見た限りでは日本だけである。

どんな組織でも「チームワーク」は、その組織を発展させ、最大限のパフォーマンスを生み出すための大切な要素である。今の職場は小所帯だが、チームワークは日本代表にもひけをとらない。だから、近いうちに大きな成果を挙げられるはずだと信じている。

学校もこの「チームワーク」にもう少し主眼をおいてもいいのではないかと思う。職員同士の人間関係の構築…大切な視点ではないだろうか。かつて、土曜日に授業をやっていた頃は、午前中の授業を終えて、同僚と昼食を食べに行き、そこでいろいろな悩みを聞いてもらったり、分からないことを教えてもらったりした。「教師文化の伝達」が今より もっと頻繁に行われていたような気がする。学校に帰ってから、一週間分の事務をじっくりやって、日が暮れる前には「明日は休みだ」とうれしくなりながら家に帰る。そんな心のゆとりが、人間関係を作るかも課題である。人が増えれば増えるほど、校長先生や教頭先生、主幹教諭・指導教諭・主任等のリーダーシップが問われよう。年齢構成や男女の比率等も、重要なファクターである。

日本は「和」の国である。教職員同士が和を尊び、連帯を強くすることが、活気のある学校を作ることに繋がるのではないか。ということで、たまには、近くの人を誘ってサッカーでも観戦しながら杯を交わすことをお勧めしたい。

※ご意見ご感想は↓まで…

全日教連ホームページアドレス
及び福田事務局長メールアドレス
URL　http//www.ntfj.net
E-mail　fukuda@ntfj.net

採用選考試験目前！講師部会員の健闘を祈る！

いよいよ平成23年度香川県公立学校教員採用選考試験が目前となりました。先日香川県教育委員会のホームページに掲載された資料によると、採用予定者数の大幅な増加に比して、受験者数は微増となったことが分かった。つまり、平均競争倍率は低下している。本年度採用を目指している講師の皆様には朗報である。是非しっかりとした準備を行い、採用選考を突破していただきたい。香教連では、今後２次試験対策研修会(模擬授業・面接対策)を７月３１日(土)13:30～サンポートホール高松７Ｆ練習室にて開催する。参加希望の方は至急香教連まで連絡いただきたい。

平成23年度出願者数　( )内の数字は昨年度の出願者数　　＜香教連調べ＞

	出願者数	内訳				対昨年比	H22年度	H23年度
		男性	女性	県内	県外	(増減)	競争率	予想競争率
小学校	497 (494)	178 (178)	319 (316)	441 (401)	56 (93)	1.01 (+3)	7.0倍	4.9倍
中学校	449 (433)	203 (188)	246 (245)	384 (375)	65 (58)	1.04 (+16)	132/927	195/946
養護教諭	96 (115)	1 (3)	95 (112)	75 (87)	21 (28)	0.83 (-19)	10.5倍 11/115	6.4倍 15/96

夏季休業目前!十分な休養・研修を!

いよいよ夏季休業が近づいて参りました。日々子どもたちに接し、真摯な教育実践に取り組まれている先生方には、ここで一息つき、心身ともにリフレッシュして９月を迎えていただきたいものです。夏季休業中も研修会等で、出張・出勤されることも多いと思いますが、是非とも合間を見つけて休養いただくと共に、夏季休業中ならではの研修にも取り組みましょう。

取得できる休暇等

休暇	取得可能な日数等	申請手続き・(参考となる法令)
夏季特別休暇	５日間(6月～9月) 半日・1日単位で取得可	「特別休暇申請書」に記入の上学校長へ提出する。(公立学校職員の勤務時間・休暇等に関する規則)
リフレッシュ休暇※	連続７日程度 職免日数分・週休・年休・休日で取得	「職免・年休」申請用紙に記入の上、学校長へ提出する。(リフレッシュ休暇実施要項参照)
厚生職免	２日以内(１日単位)	「職務専念義務免除申請書」に記入の上、学校長へ提出する。(職務に専念する義務の特例に関する条例)

※リフレッシュ休暇の詳細

経過年数	日数	補助額
5年	2日	10,000円
10年	2日	20,000円
15年	2日	30,000円
20年	3日	45,000円
25年	4日	45,000円
30年	4日	85,000円

上記リフレッシュ休暇には、教職員互助会、リフレッシュ旅行補助制度が適用可能です。該当年度内に申請下さい。また、互助会からも、使用ホテル等の領収書を添付の上「宿泊保養施設利用補助金請求書」を提出いただくことで 上限6,000円まで支給されます。是非ご活用下さい。

※　互助会会員期間が25年以上の会員には、120,000円を上限とした、「思い出記念旅行補助」も申請できます。

「教師人間論ゼミ」報告

「教師人間論ゼミ」は、基本的に月一回、第三日曜日に四国中央市新宮の若葉書院にて開催します。教師としての志を確認したり、子供たちへの話に使えるフレーズを見つけたりできる有意義な二時間です。是非お気軽にご出席下さい。

第一回「森信三先生に学ぶ教育」(平成三年三月三日)

「教育とは、人生の生き方のタネ蒔きなり」「教育とは、流水に文字を書くような儚い業である。だが、それを厳壁に刻むような真剣さで取り組まねばならぬ」森信三先生の言葉である。まさに教育の本質を述べられていると思う。

第二回「石田梅岩に学ぶ教育理念」(平成三年五月二日)

「人なくば　辻立ちしても　教えんと」石田梅岩四五歳の志である。「自分は無学だから、話を聞きに来る人は少ないだろうが、町角に立ってでも、その志を述べる決意だ」との意に教師としての原点を考えさせられた。

第三回「ペスタロッチに学ぶ教育理念」(平成三年四月八日)

ペスタロッチは、道徳的な人間を育てる基盤として家庭生活の大切さを説いた最初の人である。著書『隠者の夕暮れ』の中で「家庭の幸福は、最もよき、もっとも著しい自然の関係である。」と述べている。混迷する現代にも当てはまる考え方であると感じた。

第四回「松下幸之助に学ぶ教育理念」(平成二二年五月二三日)

松下氏は「立志」の解説に「本気になって志を立てよう命をかけるほどの思いで志を立てよう。志を立てれば、事はもはや半ば達せられたと言っても良い」と語っている。志の大切さを今の子供たちに伝えたい。

第五回「シュタイナーに学ぶ教育理念」(三年六月二七日)

肉体、感情、自我の確立に合わせた、七年刻み二一年間の教育で世界から「真・善・美」を全身を通して理解し、自由で自律的に生きることのできる人格の育成を目指した。発達段階を見極め指導する手法は現代社会にも生きている。

(文責　森　真佐純)

第6回教師人間論ゼミ:7月25日(日)13:30～

第６回目を迎える、７月教師人間論ゼミでは、

「マハトマ・ガンディー」氏を取り上げる。ガンディーは、自分の人生を何よりも真理（Satya）探究という目的のために捧げた。彼は、自分の失敗や自分自身を使った実験などから学ぶことを通して、この目的の達成を試みた。ガンディーは、非暴力運動において一番重要なことは自己の内の臆病や不安を乗り越えることであると主張する。金も地位も名誉もないが真に大切なものは…。

六月　専従日記

夏季休業が目の前です。毎日の慌ただしさの中でもホッと一息つける数少ない期間です。心身ともにリフレッシュして九月に備えましょう。

二日　弘済会評議員会・幹事会（ミューズホール）
五日　三観評議員会(観音寺商工会館)
全日教連本部役員会
全日教連第一六一回執行委員会
六日　全日教連第二七回定期大会
七日　教育会館歓送迎会
九日　坂出評議員会(勤労福祉会館)
香教連会長局長会②執行委員会①
一二日　専門部会①
一三日　香教連講師部研修会③
一五日　県教委定例教育委員会傍聴
三観食事会(観音寺グランドホテル)
一七日　仲善協議員会(丸亀競技場)
一八日　木田評議員会(福祉センター)
教育関係団体連絡協議会④
坂出の教育を語る会
(サンアンジェリーナ)
一九日　日本教文研教師審作業委員会(～二〇日)
二一日　コープかがわ総代会
(高松国際ホテル)
二二日　人事委員会交渉
二五日　小豆評議員会・パワーアップ研修会
(鹿島荘)
二六日　臨時講師部研修会
二七日　中堅教員研修会①
教師人間論ゼミ(若葉書院)
丸亀評議員会(丸亀競技場)